

丸徳グループ

車両分科会

だ よ り

Vol.10

丸徳グループ各社従業員の皆様
毎日の業務、ご苦労様です。

今月の記載内容は・・・

- ・ **車両整備講習会を開催しました！**
- ・ **横断歩道**での事故
- ・ 愛知県警からのリーフレット
- ・ 年末の交通安全運動

第12回 車輛整備講習会 10月28日 開催



講師：三菱ふそうトラック・バス株式会社
伏屋課長 様

日時：令和5年10月28日(土)9:00～

場所：丸徳産業(株) 本社 第1、第2ミーティングルーム

テーマ：「2023 車輛講習会」

講義内容

乗用車とトラックの違い

エンジンの仕組み

エンジン始動しない時の対処法

ブースターケーブルのつなぎ方

オイル吸着マットの使用法



感想

車が水没した時など、車が故障する理由であったり、今まであまり理解していなかった、エンジン内部の事や、エンジンが始動しない時の対処方法、連絡方法を細かく教えていただきました。また最近問題となっているオイル漏れの対処の仕方など、とても勉強になりました。



とても勉強になる講義ですので、
次回も多くの方が参加していただくようお願いいたします。

信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止状況全国調査（2023年調査結果）

全国平均の経年推移（2016年～2023年）



調査は各都道府県で2箇所、全国合計94箇所において、信号機が設置されていない横断歩道を通る車両7,087台を対象に実施。
歩行者が渡ろうとしている場面で一時停止した車は3,193台（45.1%）で過去最高となりました。

2023年 信号機のない横断歩道における車の一時停止率（全国）

北海道	青森	岩手	宮城	福島	秋田	山形	新潟	長野	茨城	栃木	群馬
29.0%	47.4%	56.2%	51.9%	60.8%	52.1%	53.6%	23.2%	84.4%	27.6%	74.8%	41.1%
埼玉	千葉	東京	神奈川	山梨	富山	石川	福井	岐阜	静岡	愛知	三重
38.9%	31.9%	39.6%	29.1%	61.0%	50.0%	76.4%	26.7%	65.4%	63.9%	61.2%	51.3%
奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島				
48.1%	30.1%	50.0%	53.0%	47.8%	48.5%	48.5%	36.7%				
佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	全国平均				
39.1%	58.5%	35.3%	58.1%	26.2%	42.5%	66.1%	31.1%	63.6%	42.8%	31.1%	45.1%

「2023年 信号機のない横断歩道における車の一時停止率」について、愛知県、岐阜県、静岡県では約60%となっています。この数字は決して高くはありません。片側1車線の道路を横断する際、進行方向右側の車が止まる確率が60%、左側の車が止まる確率が60%の時、**左右両方の車が止まる確率は36%**となります。「止まってくれるだろう…」と過信して横断する事は非常に危険です。

交通ルールでは、「**横断歩道における歩行者優先**」を定めています。本来、車両が横断歩道を通過するとき、横断しようとする歩行者がいる場合には、横断歩道の直前で一時停止し、通行の妨げをしないようにしなければなりません。また、横断しようとする歩行者がいなかったことが明らかな場合を除き、横断歩道の手前で停止できるようあらかじめ速度を落とすこともドライバーの責務です。一方で、歩行者側も、横断歩道を渡る時はドライバーにその意思を伝えたり、無理な横断をしないよう心掛けたりと、お互いの安全を意識することが大切です。

横断歩道では歩行者優先。歩行者も交通安全に努めましょう。





ゴーマナ
夕方の5～7は“魔の時間”

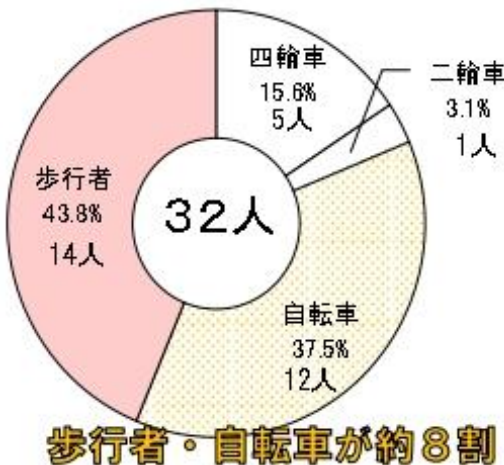


交通事故防止のPOINT 12

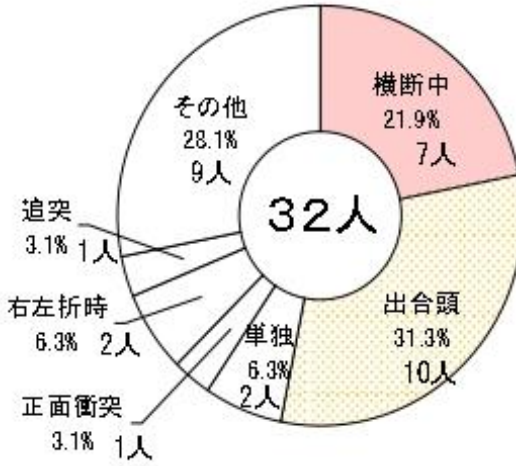
12月は、交通死亡事故が多発月！

過去5年12月 高齢者の特徴 ～全死者64人中、32人（50.0%）が高齢者～

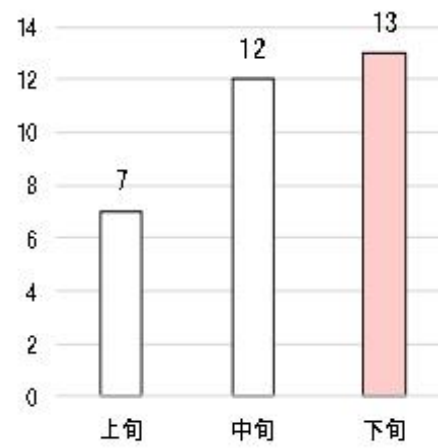
【当事者（人）】



【事故類型（人）】



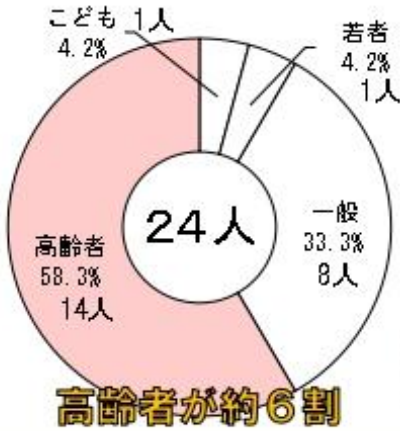
【旬間（人）】



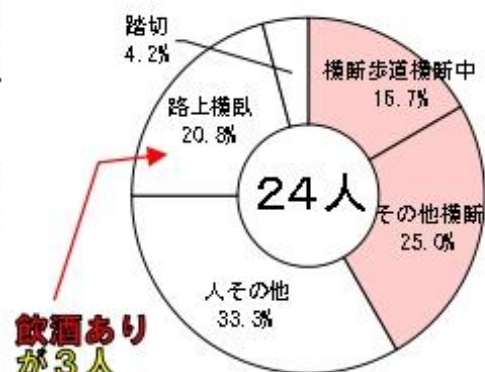
中旬以降に多発傾向
道路を横断時
交差点通過時
は、特に注意しましょう。

過去5年12月 歩行者の特徴 ～全死者64人中、24人（37.5%）が歩行者～

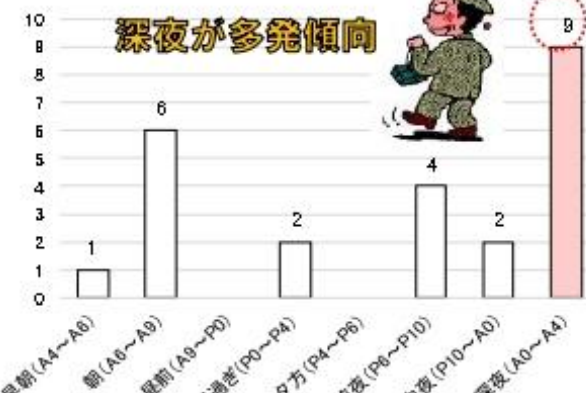
【年齢（人）】



【事故類型（人）】



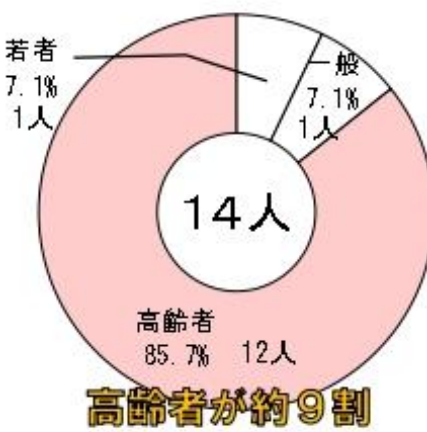
【時間帯（人）】



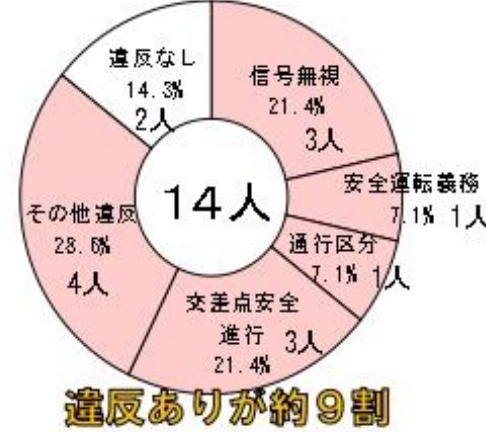
深夜に多発傾向
節度ある飲酒に心がけ、
信号灯火に従って道路
を横断しましょう。

過去5年12月 自転車の特徴 ～全死者64人中、14人（21.9%）が自転車～

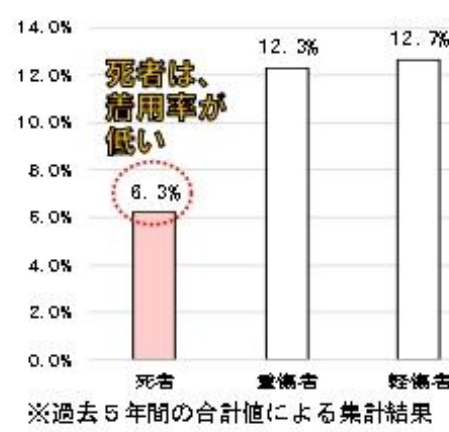
【年齢（人）】



【法令違反（人）】



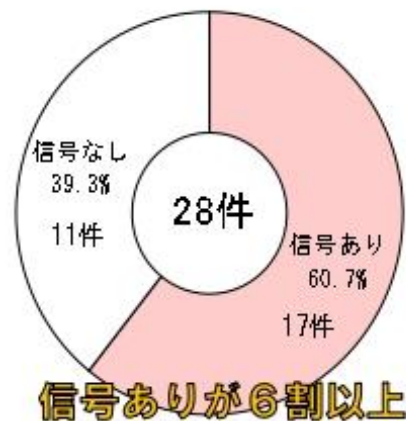
【ヘルメット着用率（※）】



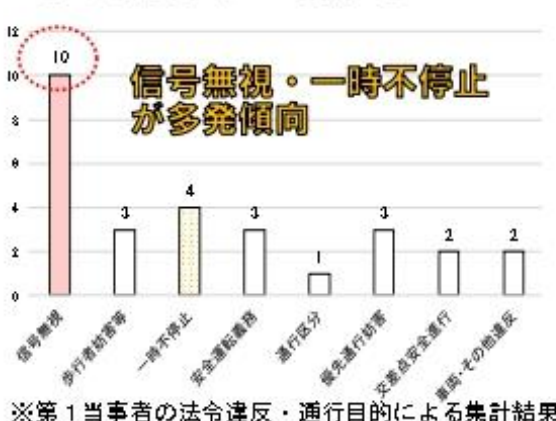
ヘルメットは、頭部を守る
非常に重要なものです。
ヘルメットを正しく着用して
死亡リスクを減らしましょう。

過去5年12月 交差点の特徴 ～全死亡事故63件中、28件（44.4%）が交差点～

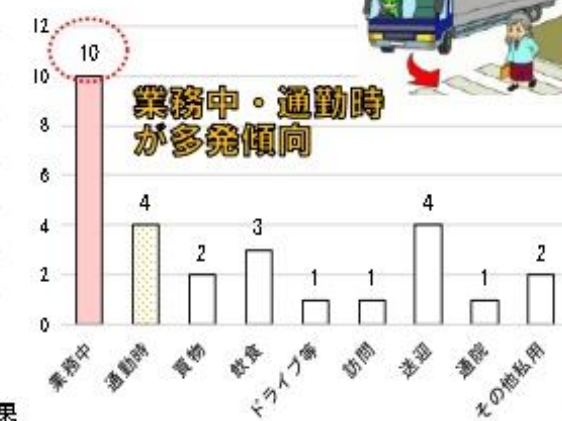
【信号機の有無（件）】



【法令違反※（件）】



【通行目的※（件）】



交差点通過時は、
信号機灯火をしっかりと確認
一時停止場所は必ず停止
し、安全な速度で通行しま
しょう。

夕暮れ時の前照灯早め点灯をお願いします！（12月の目安は、午後4時00分です。）

※ 各表は、過去5年間（H30～R4年）に愛知県内で発生した交通死亡事故等を分析した結果です。

2023年

年末の交通安全県民運動 実施要綱

《期間》

2023年12月1日（金）から12月10日（日）までの10日間
※「県内一斉大監視」12月6日（水）午後4時から午後6時の間

《目的》

年末は、師走特有の慌ただしさから、運転者や自転車利用者等の注意力が散漫となり、交通事故の増加が心配されます。

また、この時期は、1年を通じて日没時刻が最も早くなり、視認性の悪い日没後の時間帯と職場や学校等からの帰宅時間帯が重なることにより、夕暮れ時から夜間の交通事故の危険性が高まります。さらに、忘年会等、飲酒の機会が増えることから飲酒運転による交通事故の増加も懸念されます。

そこで、下記の運動重点に沿った年末の交通安全県民運動を県民総ぐるみで展開し、県民一人一人の交通安全意識を高めるとともに、交通事故の防止を図ります。

《運動重点》

- 夕暮れ時と夜間の交通事故防止及び歩行者の安全の確保
- 運転者の安全運転意識の向上及び飲酒運転等の根絶
- 自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

《スローガン》

**ストップ・ザ
交通事故** 高めようモラル
守ろうルール

《サブスローガン》

実践しよう 交通安全スリーS運動



Stop（ストップ）

- ・赤信号は確実にストップ、一時停止場所では自転車もストップ
- ・横断歩道や交差点では歩行者優先
- ・飲酒運転の根絶

Slow（スロー）

- ・子どもや高齢者を見かけたらスローな運転
- ・見通しが悪い交差点では徐行

Smart（スマート）

- ・全ての人に対して思いやりをもった運転と、運転中はスマートフォン等を絶対使用しないスマートな運転
- ・シートベルトの全席着用の徹底
- ・急発進や急制動をしない、落ち着いたアクセルの踏み込みなど環境に配慮したスマートな運転

愛知県交通安全推進協議会